

2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	2,192	22.0	313	△0.4	454	△26.5	326	△26.8
2019年12月期	1,797	24.3	315	△11.8	617	15.5	446	41.4
(注) 包括利益	2020年12月期		126百万円 (△24.0%)		2019年12月期		147百万円 (△77.9%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	49.70	48.60	21.6	20.8	14.3
2019年12月期	68.00	65.96	28.8	28.1	17.5
(参考) 持分法投資損益	2020年12月期	—百万円	2019年12月期	—百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	2,175	1,583	72.8	240.06
2019年12月期	2,200	1,446	65.7	220.77
(参考) 自己資本	2020年12月期	1,583百万円	2019年12月期	1,446百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	△18	△134	△68	890
2019年12月期	177	43	△92	1,105

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年12月期の配当については、現在未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのため事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	6,751,000株	2019年12月期	6,714,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期	156,625株	2019年12月期	161,625株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	6,573,958株	2019年12月期	6,560,638株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	2,192	22.0	274	△6.6	423	△30.0	302	△30.4
2019年12月期	1,797	25.3	294	△13.1	605	16.4	434	44.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	45.98	44.97
2019年12月期	66.16	64.18

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	2,154	1,553	72.1	235.60
2019年12月期	2,231	1,432	64.2	218.55

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,553百万円 2019年12月期 1,432百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、5Gをはじめとするデジタル基盤やIoT、ビッグデータ、AIといったデジタル技術の活用により、これまでデジタル化が進まなかった領域にもデジタル化の波が押し寄せ、サイバー空間とリアル空間が完全に同期し、あらゆるレベルにおいて変革や新たな価値の創造が生まれる社会へと向かっています（出典：総務省「令和2年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Internet of Everything）の世界を見据えたビジネス開発を、グローバルで着実に進めております。

当社データコントロール事業の売上は、安定した完全サブスクリプションモデル（完全ストック型ビジネス）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されています。当連結会計年度においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めており、前年同期と比較して月額課金売上は411,348千円純増し、上場以来24四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり極めて堅調に推移しております。なお、当連結会計年度における営業利益の前年比率は、第1四半期△37.4%、第2四半期△26.6%、第3四半期△18.0%、会計年度末△0.4%となり、現在実施している猛烈な先行投資をほぼ回収する大幅改善となりました。

IoT分野においては、IoTデバイス管理アルゴリズム「neqto:」をベースに北米を軸としたビジネス基盤のグローバル展開を加速させております。世界を代表する大手クラウドプラットフォームや大手通信キャリア等の提携による統合ソリューション等により、業種や規模にとらわれることなく世界中のあらゆるモノをシームレスに接続するための環境が構築されるとともに、全世界における双方向データ制御のIoTサービス実現に向かっております。さらに、「neqto:」は全米トップキャリアからOpen Deviceの公式認証を取得し、IoT市場において最もスピーディーなエンタープライズレベルIoTソリューションの展開が可能となりました。また、引き続き今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた投資である研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較し約350,000千円大幅に増加させております。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高2,192,768千円（前連結会計年度比22.0%増）、営業利益313,764千円（前連結会計年度比0.4%減）、経常利益454,152千円（前連結会計年度比26.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益326,732千円（前連結会計年度比26.8%減）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、1,417,920千円（前連結会計年度末比49,579千円減）となりました。これは主に、売掛金が増加（前連結会計年度末比143,087千円増）した一方で、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比214,936千円減）したことによるものであります。

また、固定資産は、758,010千円（前連結会計年度末比25,295千円増）となりました。これは主に、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比122,035千円増）、敷金及び保証金が増加（前連結会計年度末比55,638千円増）、繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比82,029千円増）した一方で、投資有価証券が減少（前連結会計年度末比271,857千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における総資産は、2,175,930千円となり、前連結会計年度末に比べ24,284千円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、417,981千円（前連結会計年度末比72,827千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比119,128千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、174,874千円（前連結会計年度末比87,964千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比68,018千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における負債合計は、592,855千円となり、前連結会計年度末に比べ160,792千円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、1,583,075千円（前連結会計年度末比136,507千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が増加（前連結会計年度末比305,756千円増）した一方で、その他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比191,204千円減）したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、890,290千円（前連結会計年度末比214,936千円減）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動により支出した資金は、18,913千円（前連結会計年度は177,478千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益442,704千円の計上により資金が増加した一方で、投資有価証券売却益134,238千円、売上債権の増加額143,087千円、法人税等の支払額249,187千円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、134,441千円（前連結会計年度は43,685千円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入134,238千円により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出171,464千円、敷金及び保証金の差入による支出60,022千円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動により支出した資金は、68,505千円（前連結会計年度は92,873千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金返済による支出75,996千円により資金が減少したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
自己資本比率 (%)	73.9	75.3	65.7	72.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	2,160.9	657.8	1,334.2	3,379.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.3	0.2	1.8	△12.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,242.7	1,161.3	810.6	△39.6

(注) 1. 各指標の計算方法は、次のとおりであります。

自己資本比率＝自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額÷総資産

※株式時価総額＝期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）

キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業キャッシュ・フロー÷利払い

2. 各指標は連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 有利子負債は貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象とし、営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを、また、利払いはキャッシュ・フロー計算書に計上されている利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのための事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105,226	890,290
売掛金	282,880	425,967
その他	79,421	101,704
貸倒引当金	△28	△41
流動資産合計	1,467,499	1,417,920
固定資産		
有形固定資産		
建物	106,070	203,566
減価償却累計額	△27,927	△43,352
建物(純額)	78,142	160,213
工具、器具及び備品	132,559	195,698
減価償却累計額	△74,297	△97,472
工具、器具及び備品(純額)	58,261	98,225
有形固定資産合計	136,404	258,439
無形固定資産		
	37,933	41,081
投資その他の資産		
投資有価証券	368,521	96,663
敷金及び保証金	180,151	235,790
繰延税金資産	1,623	83,653
その他	8,620	42,921
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	558,377	458,489
固定資産合計	732,715	758,010
資産合計	2,200,215	2,175,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,511	130,985
1年内返済予定の長期借入金	75,996	68,018
未払法人税等	158,565	39,437
その他	146,736	179,540
流動負債合計	490,809	417,981
固定負債		
長期借入金	233,018	165,000
その他	29,820	9,874
固定負債合計	262,838	174,874
負債合計	753,648	592,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,482	351,107
資本剰余金	305,955	310,580
利益剰余金	1,325,238	1,630,995
自己株式	△718,458	△696,232
株主資本合計	1,259,219	1,596,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,892	△3,311
為替換算調整勘定	△547	△10,067
その他の包括利益累計額合計	187,345	△13,379
新株予約権	2	2
純資産合計	1,446,567	1,583,075
負債純資産合計	2,200,215	2,175,930

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,797,801	2,192,768
売上原価	506,208	635,398
売上総利益	1,291,593	1,557,369
販売費及び一般管理費	976,562	1,243,605
営業利益	315,031	313,764
営業外収益		
受取利息	75	35
受取配当金	84	420
為替差益	—	1,817
投資有価証券売却益	325,427	134,238
その他	633	4,646
営業外収益合計	326,220	141,158
営業外費用		
支払利息	218	477
為替差損	4,284	—
自己株式取得費用	1,894	—
投資有価証券評価損	17,086	—
その他	50	292
営業外費用合計	23,536	770
経常利益	617,714	454,152
特別損失		
解約手数料	—	11,448
特別損失合計	—	11,448
税金等調整前当期純利益	617,714	442,704
法人税、住民税及び事業税	229,669	133,423
法人税等調整額	△58,065	△17,451
法人税等合計	171,604	115,971
当期純利益	446,110	326,732
親会社株主に帰属する当期純利益	446,110	326,732

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	446,110	326,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△297,594	△191,204
為替換算調整勘定	△547	△9,520
その他の包括利益合計	△298,141	△200,724
包括利益	147,969	126,007
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	147,969	126,007
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	338,482	297,955	879,128	△351,908	1,163,658
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	8,000	8,000			16,000
親会社株主に帰属する当期純利益			446,110		446,110
自己株式の取得				△366,549	△366,549
自己株式の処分		—		—	—
自己株式処分差損の振替		—	—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	8,000	8,000	446,110	△366,549	95,560
当期末残高	346,482	305,955	1,325,238	△718,458	1,259,219

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	485,486	—	485,486	2	1,649,148
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					16,000
親会社株主に帰属する当期純利益					446,110
自己株式の取得					△366,549
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△297,594	△547	△298,141	—	△298,141
当期変動額合計	△297,594	△547	△298,141	—	△202,580
当期末残高	187,892	△547	187,345	2	1,446,567

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	346,482	305,955	1,325,238	△718,458	1,259,219
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	4,625	4,625			9,250
親会社株主に帰属する当期純利益			326,732		326,732
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		△20,976		22,226	1,250
自己株式処分差損の振替		20,976	△20,976		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,625	4,625	305,756	22,226	337,232
当期末残高	351,107	310,580	1,630,995	△696,232	1,596,451

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	187,892	△547	187,345	2	1,446,567
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					9,250
親会社株主に帰属する当期純利益					326,732
自己株式の取得					—
自己株式の処分					1,250
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△191,204	△9,520	△200,724	—	△200,724
当期変動額合計	△191,204	△9,520	△200,724	—	136,507
当期末残高	△3,311	△10,067	△13,379	2	1,583,075

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	617,714	442,704
減価償却費	39,024	55,128
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	13
受取利息及び受取配当金	△159	△455
支払利息	218	477
自己株式取得費用	1,894	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△325,427	△134,238
投資有価証券評価損益 (△は益)	17,086	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,546	△143,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,203	21,473
その他	20,553	△15,935
小計	352,540	226,080
利息及び配当金の受取額	159	100
助成金の受取額	593	4,569
利息の支払額	△218	△477
法人税等の支払額	△175,595	△249,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,478	△18,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,907	△171,464
無形固定資産の取得による支出	△20,521	△7,569
敷金及び保証金の差入による支出	△99,341	△60,022
投資有価証券の取得による支出	△118,085	—
投資有価証券の売却による収入	333,433	134,238
その他	△2,892	△29,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,685	△134,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△41,030	△75,996
新株予約権の行使による株式の発行による収入	16,000	9,250
自己株式の処分による収入	—	1,250
自己株式の取得による支出	△366,549	—
その他	△1,293	△3,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,873	△68,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,167	6,923
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	126,122	△214,936
現金及び現金同等物の期首残高	979,104	1,105,226
現金及び現金同等物の期末残高	1,105,226	890,290

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

なお、当連結会計年度より「マネジメントサービス事業」セグメントは「データコントロール事業」セグメントへ名称変更を行っております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	220.77円	240.06円
1株当たり当期純利益金額	68.00円	49.70円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	65.96円	48.60円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	446,110	326,732
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	446,110	326,732
普通株式の期中平均株式数(株)	6,560,638	6,573,958
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	202,661	148,259
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第6回新株予約権 新株予約権の数 28個 (普通株式 2,800株)	第6回新株予約権 新株予約権の数 28個 (普通株式 2,800株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。